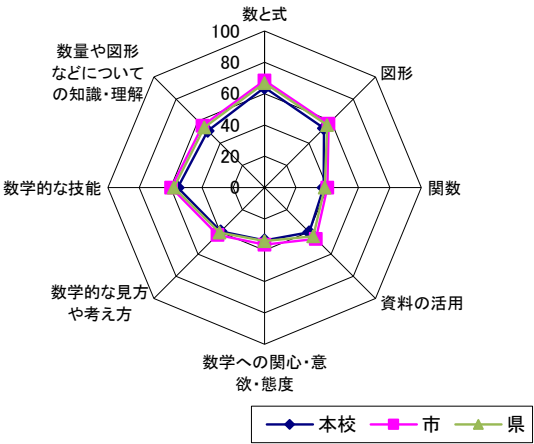


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	63.9	68.4	66.8
	図形	53.6	57.8	56.5
	関数	37.7	40.1	38.5
	資料の活用	40.2	46.3	43.8
観点	数学への関心・意欲・態度	33.7	36.4	34.1
	数学的な見方・考え方	39.5	42.5	40.5
	数学的な技能	55.4	59.6	57.9
	数量や図形などについての知識・理解	51.3	56.0	54.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	分数の乗法や四則の計算では、県の平均とほぼ同じである。 ●負の数の乗法では、県の平均を6.4ポイント下回っている。 ●比例式を解く問題では、県の平均を9.9ポイント下回っている。	・四則計算の約束事や負の数について定期的に確認する課題を取り入れることで、定着を図る。 ・計算練習を繰り返し行うことで、正確さや速さを身に付け、基本的な計算力を上げる。
図形	作図の問題においては、県の平均とほぼ同じである。 ●図形の領域では、県の平均を2.9ポイント下回っている。 ●直線の位置関係の問題では、県の平均を7.8ポイント下回っている。	・パソコンの活用や実際に空間図形を目で見えてみることで、空間の認知力を高める。
関数	比例の式を求める問題では、県の平均とほぼ同じである。 ●比例のグラフをかく問題では、県の平均を3.7ポイント下回っている。	・式・表・グラフの関係を理解できるように、日常生活において関数に関連のある題材を用意し、生徒の興味・関心が高まるようにする。 ・比例のグラフをかくことを苦手とする生徒が多いので、丁寧に確認し、類題によって定着を図る。
資料の活用	●資料の活用の領域では、県の平均を3.6ポイント下回っている。特に、範囲を求める問題では、県の平均を9.5ポイント下回っている。 ●代表値を活用する問題では、県の平均を6.5ポイント下回っている。	・度数分布表や階級値、様々な代表値の言葉の意味を丁寧に確認し、身近な事例から関心・意欲を高めることで定着を図る。 ・データの処理や活用方法の検討などをグループ活動で行うことで、深まりをもたせ、学び合うよさを実感させる。